



創造と挑戦

先進エレクトロニクスで未来を創造する
ソリューションデザインカンパニー

2024年3月期第1四半期 決算補足資料

萩原電気ホールディングス株式会社

(東証プライム・名証プレミア 7467)

2023年8月25日

2024年3月期 第1四半期 決算概要

第1四半期は3期連続で増収増益となり、過去最高を更新

- 売上高は、前年同期比27.2%増の505億円で過去最高。自動車生産台数の回復や車種展開等による需要増加に加え、顧客のIT投資や設備投資等を取り込み、売上が増加した。
- 営業利益は、販管費の増加を上回る、売上増加や高付加価値案件による売上総利益の増加により、前年同期比106.6%となる25億円の最高益を達成した。
- 経常利益は、前年同期比72.1%増の25億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比73.2%増の17億円となり、どちらも過去最高となった。

2024年3月期 業績予想

業績予想は5月15日公表値を据え置き

- 四半期ベースは好調ではあるものの、先行きが不透明であることから、通期の業績予想は5月15日の公表値を据え置いた。

2024年3月期第1四半期決算概要

2024年3月期業績予想

2024年3月期第1四半期業績

■ 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のすべてで3期連続で増収増益となり、第1四半期決算として過去最高を更新した。

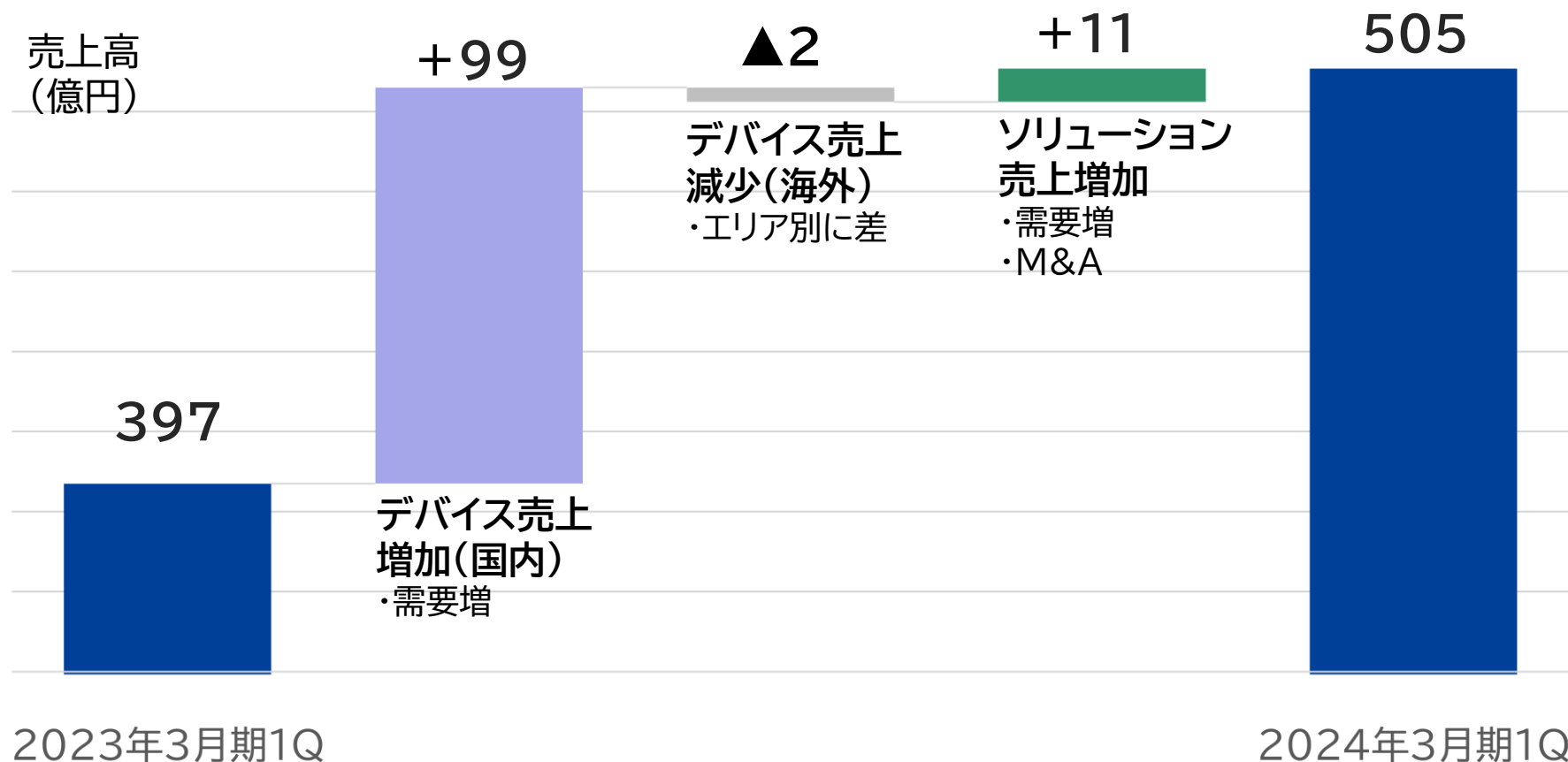
(単位:百万円)

	2023年3月期1Q		2024年3月期1Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	39,704	100%	50,504	100%	+10,800	+27.2%
売上総利益	3,851	9.7%	5,352	10.6%	+1,501	+39.0%
販管費	2,640	6.7%	2,852	5.6%	+211	+8.0%
営業利益	1,210	3.0%	2,500	5.0%	+1,289	+106.6%
経常利益	1,469	3.7%	2,529	5.0%	+1,059	+72.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	985	2.5%	1,706	3.4%	+721	+73.2%
1株当たり四半期純利益 ^{*1} (円)	111.32	-	189.40	-	+78.08	-

*1 新株予約権の権利行使により前年同期と比較し発行済株式数が増加しております。期中平均株式数は、2023年3月期1Qは8,850,887株、2024年3月期1Qは9,010,159株となります。

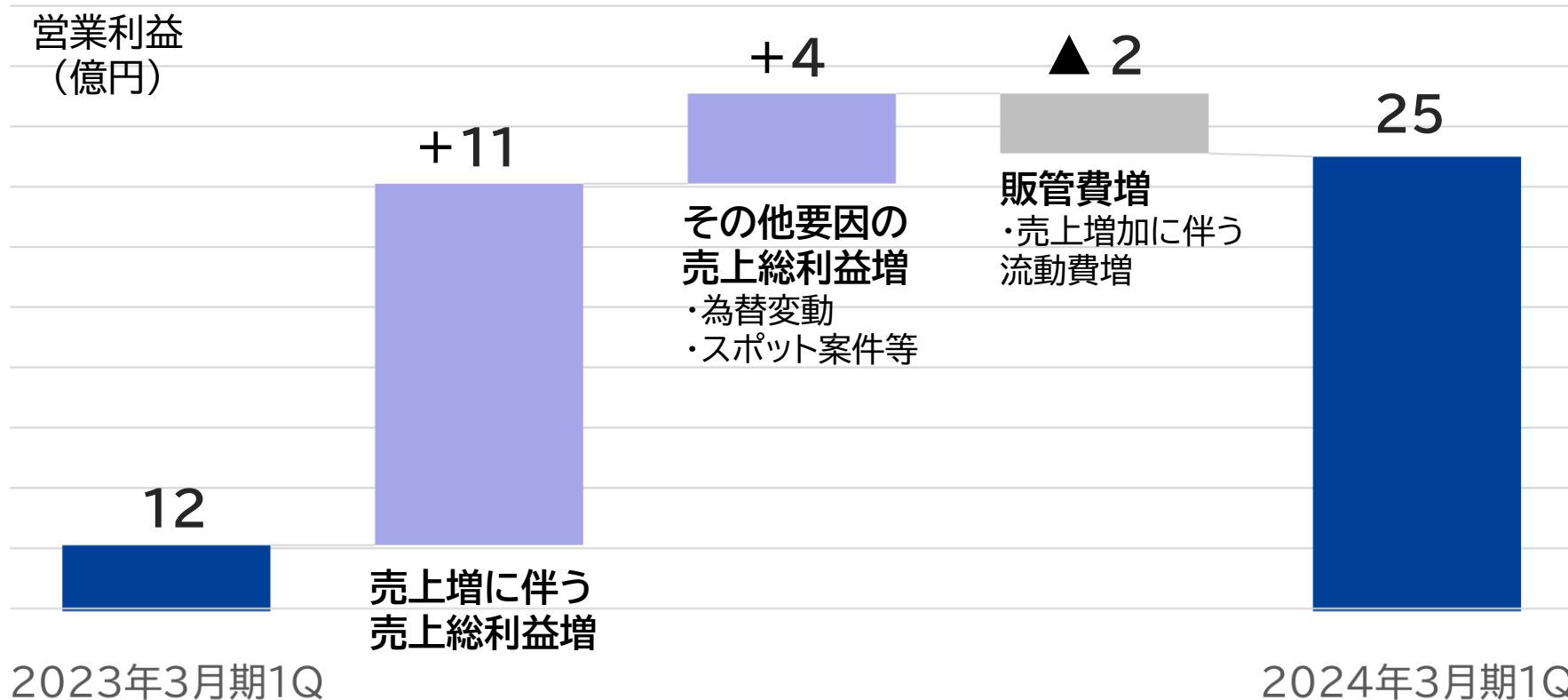
売上高の増減要因

- 前年同期比較で108億円(+27.2%)増加した。
- 自動車生産台数の回復や採用品の車種展開等により国内を中心にデバイス事業の売上が好調だったことに加え、顧客のIT投資や設備投資等を取り込んだソリューション事業の売上も好調だった。



営業利益の増減要因

- 前年同期比較で12.8億円(+ 106.6%)増加した。
- 売上増加や高付加価値案件の獲得による売上総利益の増加に加えて、販管費は増加したものの上昇率を抑えたことで、営業利益率は2.0ポイント向上した。

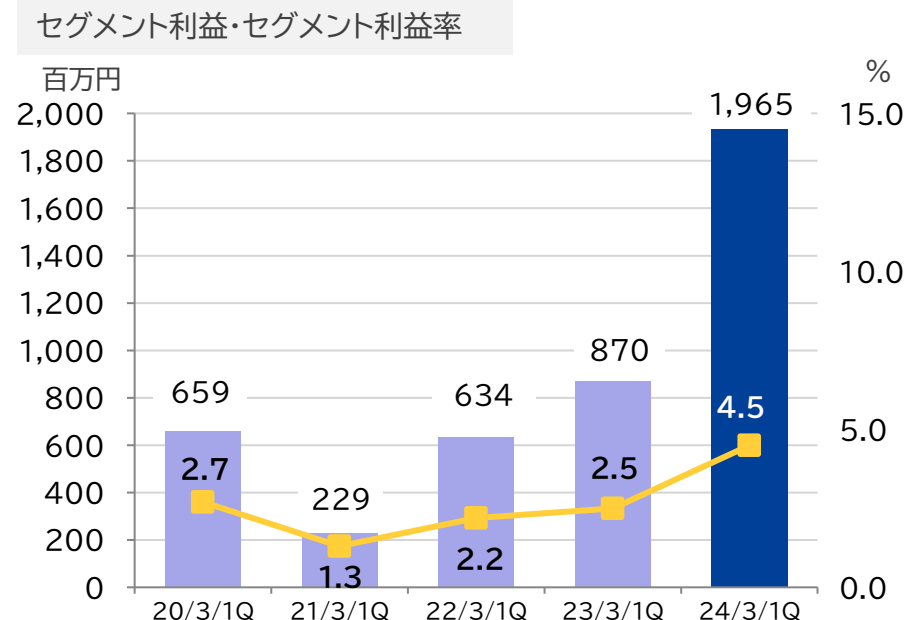
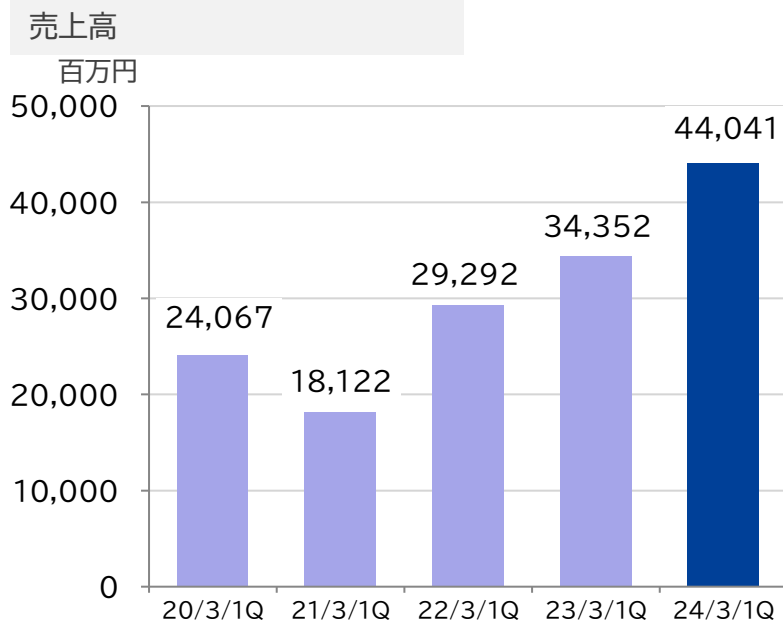


デバイス事業 業績概要

- 自動車生産台数の回復や採用品の車種展開等で売上が好調だった。
- 商流移管に伴う移管補償金の支払いが減少するなど、経費の上昇が抑えられたことで、利益率が2.0ポイント向上した。

(単位:百万円)

	2023年3月期1Q		2024年3月期1Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
売上高	34,352	100%	44,041	100%	+9,688 +28.2%
セグメント利益	870	2.5%	1,965	4.5%	+1,094 +125.8%

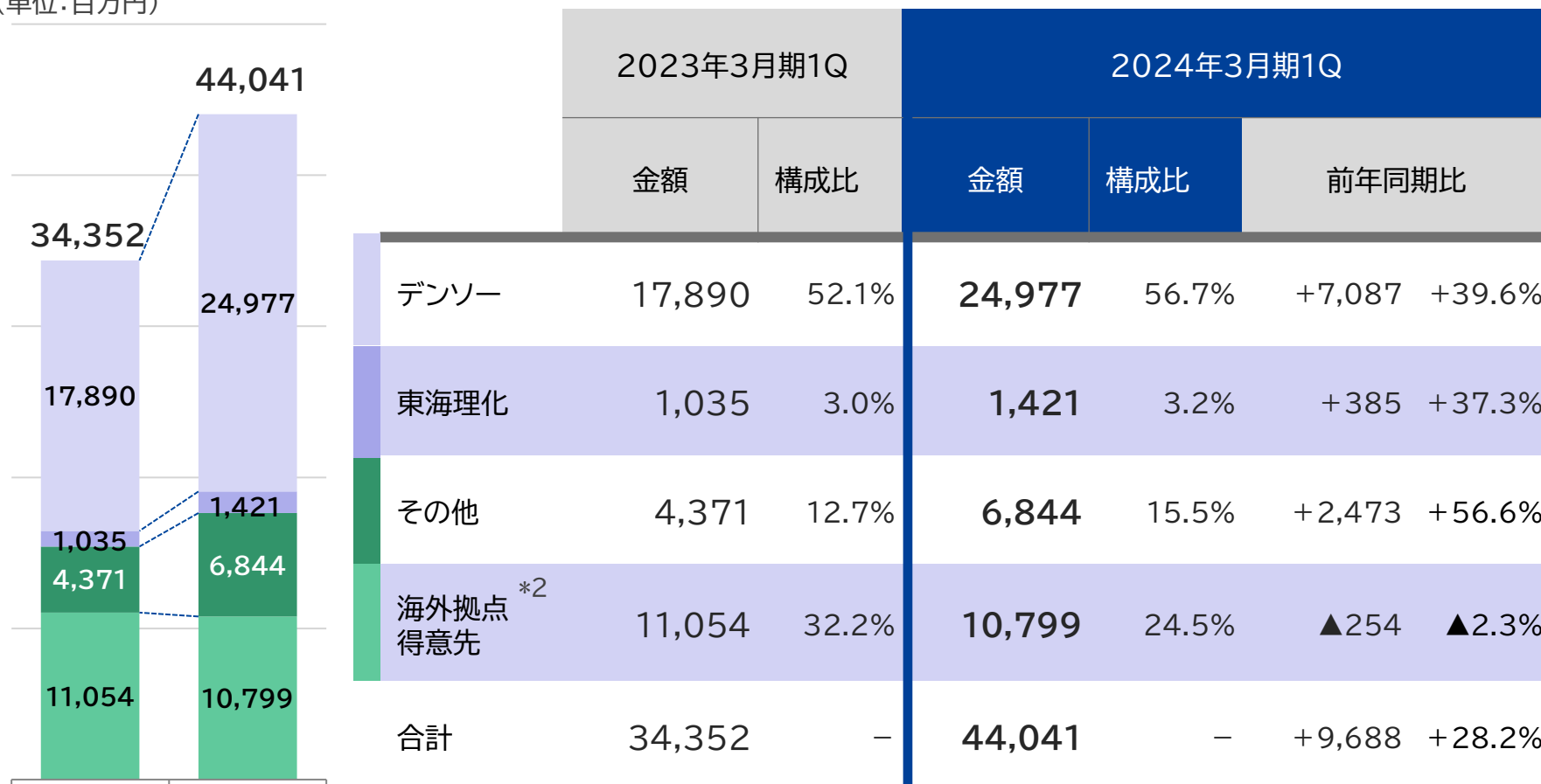


デバイス事業 得意先別売上高前期比較

■ 半導体不足の緩和や自動車の電動化領域の伸展により顧客生産が活発化したことと併せ、新規採用や車種展開があり、主要顧客を中心に売上が好調だった。

(単位:百万円)

(単位:百万円)

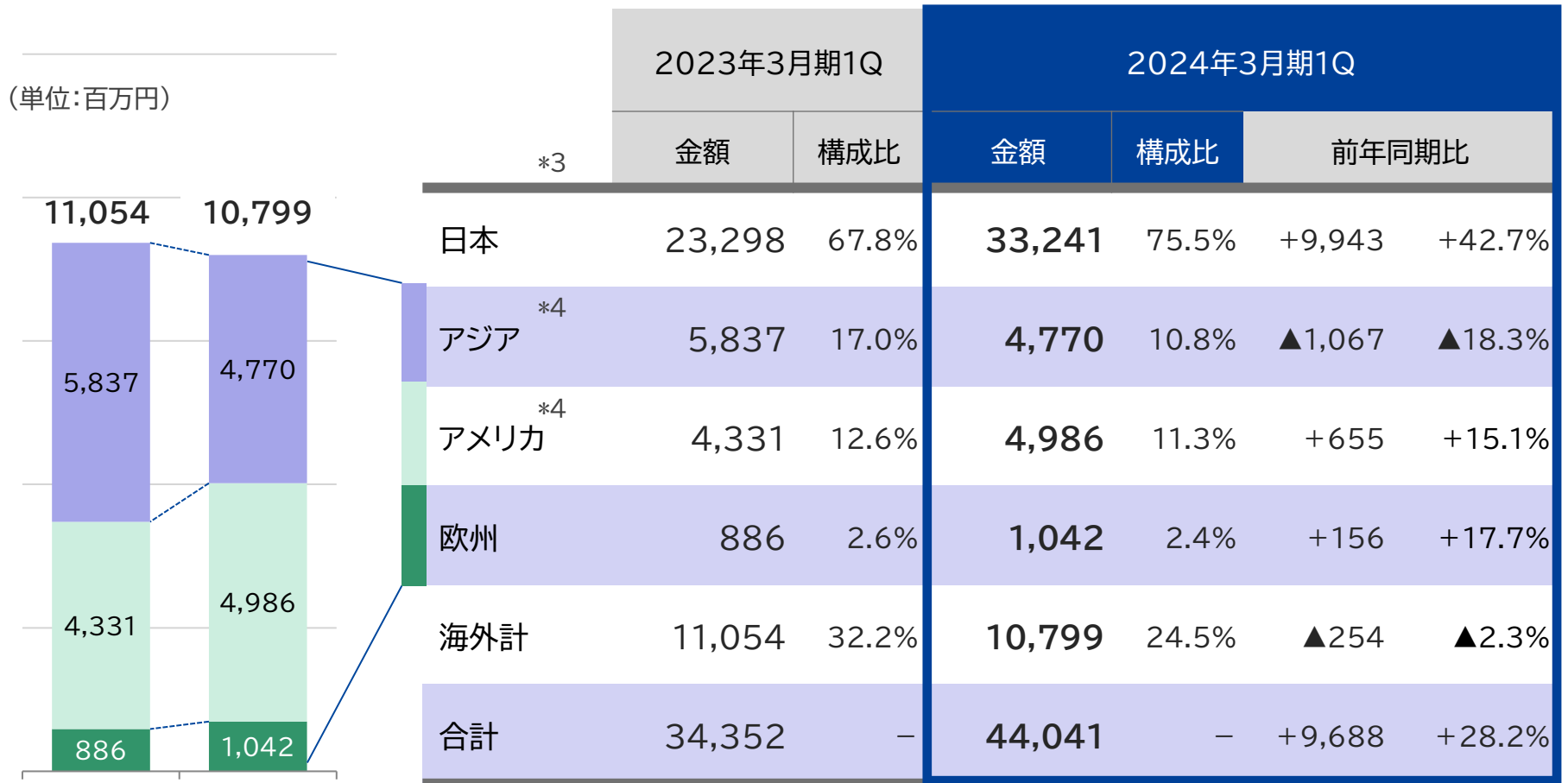


*2 海外拠点得意先には、デンソーを含む主要顧客の海外事業所向けの売上が含まれております。

デバイス事業 エリア別売上高前期比較

■ 自動車生産台数の回復等により、国内を中心に売上が増加した。

(単位:百万円)



*3 地域名は当社グループ拠点の所在地域(グループ内取引は除く)です。

*4 当社グループのシンガポール、中国、アメリカ拠点の決算期は12月となるため、2024年3月期1Qに織り込まれる業績は2023年1月～2023年3月の期間のものとなります。

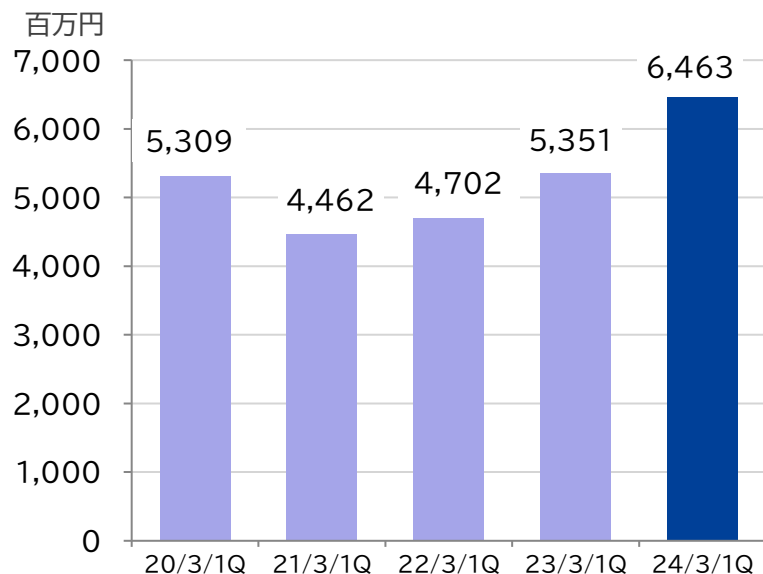
ソリューション事業 業績概要

- 顧客のIT投資や設備投資等を積極的に取り込み売上が増加した。
- 高付加価値案件が増加したことで利益率が1.9ポイント向上した。

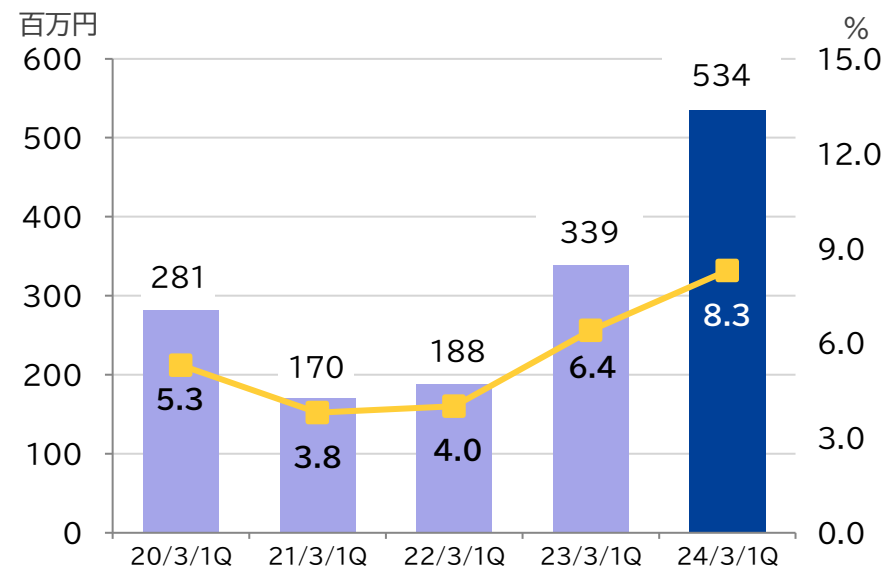
(単位:百万円)

	2023年3月期1Q		2024年3月期1Q			
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比	
売上高	5,351	100%	6,463	100%	+1,112	+20.8%
セグメント利益	339	6.4%	534	8.3%	+194	+57.3%

売上高



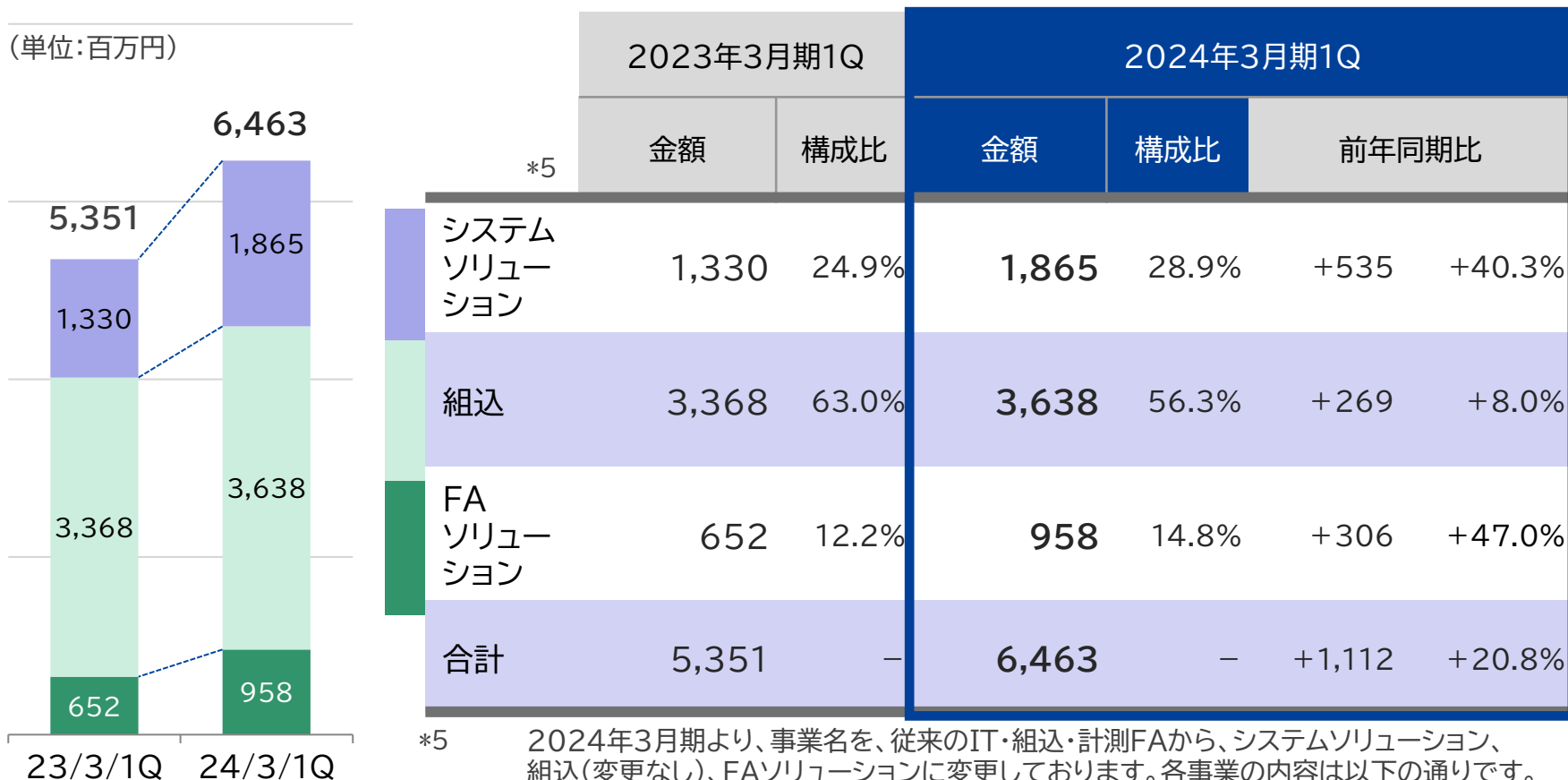
セグメント利益・セグメント利益率



ソリューション事業 事業別売上高前期比較

- ITプラットフォーム基盤やIT機器の更新、業務効率化を目的としたシステム構築等の需要を取り込んだ。
- FAソリューションの売上増は2022年9月に子会社化した萩原エンジニアリングが寄与した。

(単位:百万円)



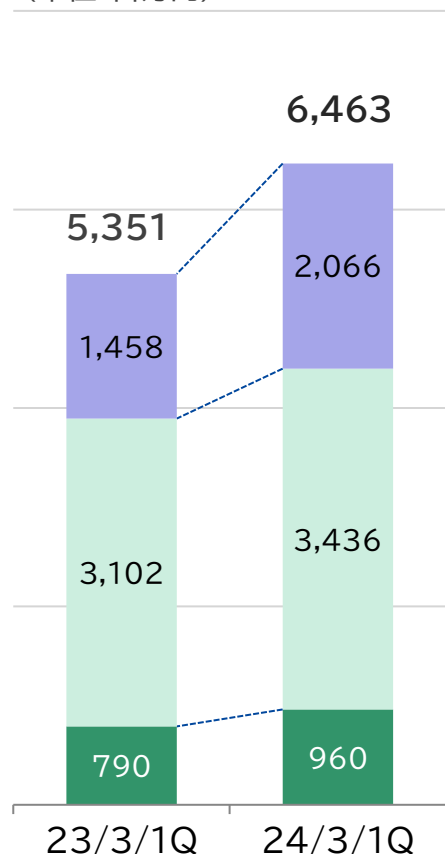
*5 2024年3月期より、事業名を、従来のIT・組込・計測FAから、システムソリューション、組込(変更なし)、FAソリューションに変更しております。各事業の内容は以下の通りです。

システム	:IT機器販売、アプリ開発、IoTシステム開発、セキュリティ対策等
組込	:産業用コンピュータ開発・製造、機械装置向け組込産業用コンピュータ販売等
FA	:計測機器・検査装置・FA機器販売、各種自動化・省力化製造装置の開発・製造・販売等

ソリューション事業 業種別売上高前期比較

- 自動車関連企業の積極的なIT投資や設備投資を取り込んだほか、FA・産業機器関連企業向けの組込機器の販売が好調だった。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	2023年3月期1Q		2024年3月期1Q			
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比	
自動車	1,458	27.3%	2,066	32.0%	+607	+41.7%
FA・産業機器	3,102	58.0%	3,436	53.2%	+334	+10.8%
その他	790	14.8%	960	14.9%	+170	+21.5%
合計	5,351	-	6,463	-	+1,112	+20.8%

2024年3月期第1四半期決算概要

2024年3月期業績予想

2024年3月期業績予想

■ 四半期ベースは好調ではあるものの、国内外の市況の先行きが不透明であることから、2023年5月15日に公表した業績予想を据え置いた。

(単位:百万円)

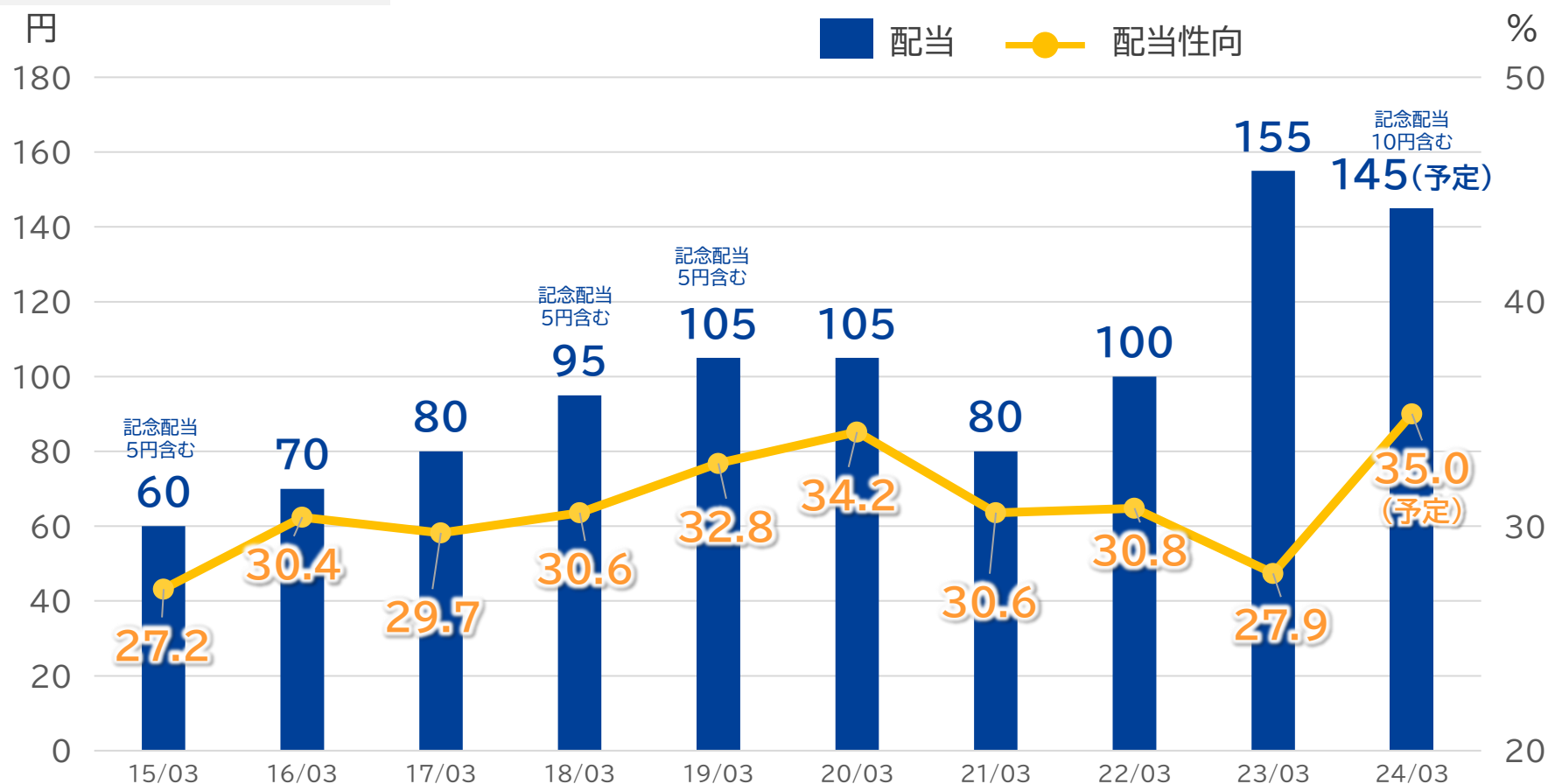
	2023年3月期		2024年3月期(予想)		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	186,001	100%	213,000	100%	+26,998	+14.5%
営業利益	6,725	3.6%	6,300	3.0%	▲425	▲6.3%
経常利益	6,417	3.5%	6,000	2.8%	▲417	▲6.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,912	2.6%	3,900	1.8%	▲1,012	▲20.6%
1株当たり当期純利益 (円)	554.71	—	414.22 ^{*6}	—	▲140.49	—

*6 新株予約権の権利行使により、2023年5月15日公表の当期業績予想算出時と比較し発行済株式数が増加しております。そのため、2024年3月期の連結業績予想における1株あたり当期純利益については、発行済株式数の増加の影響を考慮して算出しております。

株主還元

- 配当予想は従来予想を据え置き、記念配当10円を期末に含む年間配当145円を予定。
- 配当の基本方針は、配当性向30%を目途に安定的な配当の実施。

配当金および配当性向の推移





創造と挑戦

先進エレクトロニクスで未来を創造する
ソリューションデザインカンパニー

引き続きご支援ご鞭撻を
よろしくお願い申し上げます

本資料のうち、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基き当社で判断したものであります。
予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。